

特別の教科 道徳

中橋 弘高
早谷 憲子
金子 真鈴

1. Society5.0に向けた教育を進めるに当たって

本校では、学校教育目標「自由闊達な気風の中で、広い視野と豊かな人間性を持ち、将来、社会的使命を果たす生徒を育成する。」の基に道徳教育の重点目標を「自分を律しつつ、自分に関わる人の思いに気付き、思いやりの心を持ち、他者との相互理解を図りながら、よりよい人間関係を築いていこうとする態度を育てる。」としている。

今年度は「Society5.0を主体的に生きるための資質・能力の育成～STEAM教育を踏まえた教科等横断的プロジェクトの作成を目指して～」という研究主題の基に取り組んでいる。「真理の探究、創造」、「希望と勇気、克己と強い意志」、「真理の探究、創造」、「よりよく生きる喜び」の内容項目を教育課程の中で重点的に位置付けている。各学年で共通する教材で実践研究を行いながら、総合的な学習の時間や学校行事等と関連させ、教科等横断的なカリキュラムの開発を目指して取り組み、それらの学習を通して、「イノベーターのマインドセット」と、「よりよく生きようとする態度」の育成を目指した。

2. 資質・能力の育成に当たって

(1) 教科等として育成する資質・能力について

「考え、議論する道徳」を目指して、生徒の姿を教師が的確に捉えられるように今年度は全校共通のノート教材を用い、授業ごとに記録を取ることにした。三つの項目において、当てはまるのか、当てはまらないのかを四段階で表す欄と、思ったことや考えたことをメモする欄を利用した。項目は「教材や友達・先生の話から、自分の考えを深めることができた」、「学んだことをこれから生きていく中で大切にしたいと感じた」、「今日の授業は考えさせられた」である。

また、昨年度に引き続き、今年度も授業を担当のみが行うのではなく、各学年所属の教師も道徳を行う計画を立てた。全クラスの授業を同じ教師がすることによって、一つの教材の準備にかかる時間が十分に取れることやお互いに授業参観することによって生徒の反応も捉えやすくなるという効果があった。

特別の教科道徳では、Society5.0を主体的に生きるための資質・能力の中の「イノベーターのマインドセット」と「よりよく生きようとする態度」を育成しようとする上で、学年ごとに共通した内容項目に取り組むこととした。

一年生は、真実を大切に、真理を探究して新しいものを生み出そうと努める「真理の探究、創造」である。新しいものを生み出すことは、容易にできることではない。しかし、中学校生活の中で工夫することの大切さに気付かせることが、自由な発想を育み新しい考えや方法を生み出そうとすることにつながり、ひいては積極的に新しい分野を切り開いていこうという意欲を引き出すことになり、この探究の精神は、よりよく生きたいと願う自分自身の未来を創るとともに、よりよい社会を創る原動力となる（指導要領より）からである。

二年生は、「希望と勇気、克己と強い意志」である。二年生は中学校生活にも慣れ、自分がうまくできないことややりたくてもできないことなどに直面し、失敗や挫折を味わう時期でもある。思春期の真ただ中で、自分のストレスをうまく発散できない生徒や周りを気にするあまりに自信を持ってない生徒など、自分の生き方に迷いを感じている生徒も少なくない。人間としてよりよく生きるには、目標や希望をもつことが大切である。しかし、その達成を目指すには様々な困難を乗り越えなくてはならない。そこで、困難や失敗を受け止めて、希望と勇気を失わない前向きな姿勢や、失敗にとらわれない柔軟でしなやかな思考を育みたいと考えた。

三年生は、「よりよく生きる喜び」である。人間は、時として様々な誘惑に負け、やすきに流されることもあるが、誰もがもつ良心によって悩み、苦しみ、良心の責めと戦いながら、呵責に耐えきれない自分の存在を深く意識するようになる。こうした苦しみに打ち勝って、恥とは何か、誇りとは何かを知り、自分に誇りをもつことができたとき、人間として生きる喜びに気付くことができる（指導要領より）ようにしたい。

(2) 関連・連携を図った教科等について

道徳教育としては、全体計画と年間指導計画を作成し、学年ごと、教科ごとの関連を図り、生徒指導や教育相談、学校行事等とも連携して取り組んでいる。

3. 成果と課題

一年生では、本校が定める資質・能力のうち、すべての基本となる「イノベーターのマインドセット」の育成を図った。実践授業を行うにあたって、これを「イノベーターがもっている心構え、やってみる、型にはまらない、失敗して前進、人を幸せにしたい」思考パターンであると定義づけ、道徳科で扱う内容項目である「真理の探究、創造」と関連づけて取り扱うこととした。多くの生徒は、各々の夢の実現に向けて、高い目標を定めて学力の向上に努めており、身につけるべき資質の前提を備えていると考えられる。しかし、その半面、成果が出ないことで努力を諦めてしまったり、点数としての結果を追い求める余り、学習に対する見方が一面的になったりする場面も見られる。そこで、実践授業をきっかけとして、生徒が自身のマインドセットの実態を把握し、教材の筆者の体験に触発され、自らの考えを変えたり、広げることによって、学びを前向きに生かしていけるように授業を設計した。その結果、授業後の振り返り・感想の記述に、ねらいとする積極的な態度に関連したものが多く見られた。

○生徒の感想

- ・自分よりすごい人を見たときに、「私には無理」ではなく、「私もああいう風になりたい」と目標を持ち続けたいです。
- ・私は、「どうせ無理」と思うことが多く、それは失敗を恐れているからなのだと実感しました。確かに、失敗は嫌だし、恥ずかしいけれど、自分の好きなことや楽しんでやっていることに対しては、その気持ちがなくなっていることに気がつきました。
- ・「できなかったから損した」ではなく、「できなかったけれど、よい人生経験になった」と思えるようになると、新しいことにもチャレンジできるようになると思います。

二年生では、「希望と勇気、克己と強い意志」の内容項目が「よりよく生きようとする態度」につながると考え、「左手でつかんだ音楽」の授業に取り組んだ。希望と勇気をもって夢や理想を実現していこうとする意欲を育むことをねらいとした。館野さんの生き方を通して、その時々的心情を想像

し、夢や理想を実現するために必要なことは何かを考えることができた。

○生徒の感想（夢や理想を実現するために必要なことは何か）

- ・勇気をもって行動することと、決めたことはやり通そうと思う強い気持ち。
- ・夢や理想を一番にかかげながら、あきらめずに様々な方法で試したり、一つの方法で突き進んだり、状況に合わせてながら努力することが大切。
- ・周りにとらわれないこと。
- ・あきらめない心とぶれない芯。
- ・持っている夢や理想をあきらめずに持ち続けて、実現するためにできることを全力ですること。
- ・まずは挑戦することが大切だと思う。上手くいかないなら仲間に「どうしたらいい？」と聞いたりして、周りからの客観的な意見をもらうことが必要だと思う。
- ・どんな場合でも、その状況に合わせて、やり方や考え方を変えて、諦めずに挑戦し続けることが必要だと思った。

三年生では、「よりよく生きる喜び」の内容項目に着目して、実践を行った。「背番号 15 が歩んだ道—黒田博樹」を通して、ファンへの感謝を忘れずに、夢をあきらめず努力した黒田選手の姿勢に、夢や希望のあるよりよい生き方を見いだそうとする心情を深めようと取り組んだ。

○生徒の感想

- ・自分も黒田投手のように地元を愛したいと思った。そしていろいろな場面で応援してくれる人に応えたり、感謝を伝えたいと思った。
- ・自分に厳しく、自分の今の環境が当たり前ではないと常に考えている方で、とても感動した。自分にはこんな生き方はできないかもしれないけれど、多くのプロ選手を見習ってみたいと思った。
- ・僕は努力や労力を集中して継続するのが苦手なタイプなので、黒田選手を見習って、何のために努力するのか、自分は何になりたいのかを意識していきたいです。
- ・自分の信念を貫くためには、何らかのきっかけが必要なのでは。自分にも、いつかそんなことができれば良いなと思った。
- ・お金とやりがい、つい自分のことだけを考えて「お金」をとりがちだが、自分の人生を支えてくれている人のために自分の役目を果たす、その喜びを感じられる人間になりたいと思った。
- ・私だったらお金に目がくらんでしまいそうになるけど、お金じゃなく応援してくれる人のためだと言ってお金を気にしないところが本当にかっこいいと思いました。私が何かを選択するときが来ても、目先の利益にとらわれず自分が楽しいと感じることややりがいを感じることを、人のためになることを選びたいと思いました。
- ・今日の授業で、もちろんお金は大事だと思ったけど、お金よりも自分がしたいことをすることの方が大事なのかな、と思った。僕も将来やりがいのある仕事がしたい。

実践事例

道徳 1 年

授業クラス（時限）	関係・連携の考えられる教科等と学習内容
1 年	総合的な学習の時間
Society5.0を主体的に生きるための資質・能力	教科等で身に付けたい資質・能力
<ul style="list-style-type: none"> ・イノベーターのマインドセット 	<ul style="list-style-type: none"> ・真理の探究，創造【A-(5)】
実社会とのつながり	
<p>現実社会の問題は，様々な要因が複雑に合わさり生じている。その解決には，2つ以上の学問分野で学んだこと知識とスキルを応用することが重要である。しかし，その前提として，好奇心やチャレンジ精神，失敗しながら前進する精神を持ち合わせている必要がある。これらを養うための方策として，実際に困難や失敗を乗り越えて挑戦し続ける人の生き方に触れ，学び，道徳的实践につなげて心掛けが肝要である。</p>	
本時の授業のねらい	
<p>真実や真理を探究して社会の発展や学問，科学技術に貢献した人々の生き方に学ぶとともに，それらの人々の探究心を支えたものについて考え，自らの生き方に生かすことができる</p>	
授業の流れ・活動等	時間
<p>1. 導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの体験を振り返って「どうせ無理」と感じた場面やその時の心境について考える。 	5分
<p>2. 展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師範読の下，資料を読む。 	5分
<p>3. 資料について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「作者の思いや考えの中でいちばん印象的だったことや共感したことは何か。また，それはなぜか」について意見を出し合う。 	5分
<ul style="list-style-type: none"> ・中心発問「初めてロケット作りの話を聞いたとき，きょとんとしていた会社のメンバーがロケットを作ろうとした。それは，どのようなことに気付いたからか」について登場人物の変容について考え，意見を出し合う。 	15分
<p>4. 考えを深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『作者はなぜ「どうせ無理」という言葉に負けたくないのだろう。もし，負けたらどのようなになってしまうのだろう。』について意見を出し合い，考えを深める。 	10分
<p>5. まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新しいことに挑戦するときに大切にしたいこと」について考え，発表する。感想，振り返りをノートにまとめる。 	10分

実践事例

道徳 2年

授業クラス（時限）	関係・連携の考えられる教科等と学習内容
2年	国語・音楽
Society5.0を主体的に生きるための資質・能力	教科等で身に付けたい資質・能力
・よりよく生きようとする態度	・希望と勇気，克己と強い意志 【A-（4）】
実社会とのつながり	
<p>よりよい人生を歩んでいくためには，夢や理想を持つことが大切である。自分自身で目標を設定し，その達成を目指すことは日々を充実したものにすることが，様々な困難に立ち向かい，努力し続ける必要がある。努力し続けるには，希望や勇気を失わない前向きな姿勢や，失敗にとらわれない柔軟でしなやかな思考が求められる。そこで，様々な人の生き方に学びながら，自分がどのような生き方をしていけばよいのかを考える機会としたい。</p>	
本時の授業のねらい	
<p>息子から贈られた楽譜をきっかけに再起を果たした舘野さんの生き方を通して，希望と勇気をもって夢や理想を実現していこうとする意欲を養いたい。また，こんなことは自分には起きないと縁遠いこととして捉えるのではなく，夢や理想を実現するために必要な姿勢とはどのようなものなのかを自分の問題として考えさせたい。</p>	
授業の流れ・活動等	時間
<p>1 自分の経験を振り返る。 「あきらめずに続けられたことはありますか。」 ・部活動の練習，習い事など。 舘野さんのピアノを聞く。 「どのように弾いていると思いますか？」 ・両手で。</p>	5
<p>2 『左手でつかんだ音楽』を読む。 「何もする気が起こらなくなり，絶望的な気持ちに陥った時，舘野さんの中では，ポジティブな思いの割合はどれくらいでしょうか。また，その時の気持ちは？ 心情円盤で表現してみましょう。」 ・右手のリハビリを頑張ろうと思えないほど右手が使えないことがショックでつらかった。</p>	15
<p>3 考えを出し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>中心発問：ヤンネさんからおくられた「左手のための三つの即興曲」をひいた舘野さんは，どのような気持ちになっただろう。</p> </div> <p>・両手で演奏という考え方がなくなって，左手で演奏するという新たな希望を見いだした。</p>	15
<p>4 考えを深める。 「夢や理想を実現するために必要なことは何ですか。」 ・前向きな考え方。前向きに考えれば，とりあえず前進していく。 ・他に方法がないか，広い視野を持つこと。</p>	10
<p>5 ふりかえり，感想。 「ノートに振り返りと感想を書きましょう。」</p>	5

実践事例

道徳3年

授業クラス（時限）	関係・連携の考えられる教科等と学習内容	
3年	保健体育「ソフトボール」	
Society5.0を主体的に生きるための資質・能力	教科等で身に付けたい資質・能力	
・よりよく生きようとする態度	・よりよく生きる喜び【D-（22）】	
実社会とのつながり		
<p>今の中学生の特徴の一つに自己肯定感の低さがある。自分に自信が持てず、少しの挫折ですぐに夢や目標をあきらめてしまう中学生が多い。またプロセスよりも結果を求める風潮が強い今日、成果や結果の出にくい夢や目標に対して興味を示さないことも多い。しかしこうした時代でも、黒田選手のように実現の難しい夢や目標に向かって努力する人のことを知り、夢の実現に向けて努力し、他者との協働活動を通して困難な目標に立ち向かうすばらしさを感じさせたい。</p>		
本時の授業のねらい		
<p>達成困難な夢の実現に向けて努力していくことは容易ではない。しかし努力する姿を見守り、その努力を認めてくれる人がいれば、やる気と意欲は高まる。夢の実現は、決して自分一人の力ではなく、多くの人々からの支援や応援によって成し遂げられることを忘れてはならない。自己の努力と、他者からの支援と応援に感謝して、よりよい人生を送る喜びを感じ取れるようにしたい。</p>		
授業の流れ・活動等		時間
1. 「夢」はありますか？ （例：宇宙へ行きたい、外国へ旅行に行きたい、お金持ちになりたい…）		10
2. 黒田選手の紹介 ・スポーツ選手の画像を見せる ・黒田選手（広島カープ、ピッチャー、MLBでプレーしていた…）		5
3. 資料を読む		5
4. 考えを出し合う		15
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>中心発問：黒田選手がMLBの高額な年俸を断ってまで、古巣のカープに戻ったのは、なぜだろう？</p> </div>		
<ul style="list-style-type: none"> ・個人で考える ・グループ等で意見を交流させる 		
5. 考えを深める 「自分が黒田選手だったらどうするだろう？」を考える ・個人で考える ・グループ等で意見を交流させる		10
6. ふりかえり、感想 ・ノートに感想を書く		5